



周東中 校内研修会・臨時の任用教員等研修会・学校運営協議会合同開催！

令和3年11月17日(水)標記の3つの会が合同で開催されましたので、その様子を紹介します。

【校内研修 研修主題】

自分の考えを豊かに表現する生徒の育成 ~「衆中」場面の工夫~

*「衆中」場面の工夫 = 集団の中で学びを深めていく過程の工夫

【当日のねらい】

- 1 (参観者) 公開授業を参観することで、授業を見る目を養い、自らの授業改善に活かす。
- 2 (授業者) 授業を参観してもらうことで、授業改善を図る。
- 3 (研究協議) 周東中授業モデルに即し、「展開」の場面に焦点を当てて、考え方や意見を交流する。

【授業参観の視点】

- ① 自分の考えをもつ時間が確保されていたか。
- ② 自分の考えを表現する時間がされていたか。
- ③ 生徒同士が交流し、考えが深まったり、広がったりする場を作っていたか。
- ④ 生徒が「不」を感じていないか。(不満・不安・不便)



学校運営協議会委員も
授業参観



2年2組 社会科の授業
グループ学習の場面



2年1組 英語の授業
ペア学習の場面



学校運営協議会の様子

- 授業の感想の中で、一斉授業だけでなく、ペア学習やグループ学習など授業形態が工夫されていて、生徒がいきいきと学んでいた。
- 校長から、小中学校が一緒になって、算数・数学の力を高めていく必要があるなどの問題が提示されました。
- 繁澤会長から、周東地域協育ネットの方向性の簡単な発表もありました。

学んだ五橋
ガイド役実

藤河・御庄・柱野の3小児童

春から準備 成果生かす

岩国市の錦帯橋周辺にある藤河、御庄、柱野の3小学校の6年生計34人が11月18日、一帯の観光ガイドに挑戦した。岩国中と同校区の岩国小を含めた計4校が、9年間で地域を学ぶ小中連携教育の一環。春から橋や城下町の歴史を学んだ成果を生かした。11月20日には岩国小の147人が橋のたもとに立つ。



御庄小の児童による 子どもガイド



柱野小の児童による 子どもガイド

藤河小の御手洗寿莉さん（11）は「実はくぎが多く使われてることとか、木材の種類とか、橋の秘密をたくさん聞いてもらつた」と笑顔を見せた。柱野小の3人もクイズ形式でアーチの高さや建設費用を伝えた。初めて訪れた東京都武蔵野市の保育士山崎博美さん（73）は「かわいいガイドさんのおかげで、橋の歴史や構造がよく分かった」と喜んでいた。

3校の児童は、手作りの説明用ボードを抱え、3、4人のグループに分かれて橋の上や吉香公園内の観光客に声を掛けた。御庄小の畠口柚稀さん（11）のグループは木組みの構造や、橋脚の石積みが増水時に流れを受け流すため船形になつていると説明した。畠口さんは「橋を守るための工夫を伝えられた」と話した。



藤河小の児童による子どもガイド

4校は今春、橋や城下町の学習を始めた。「平成の架け替え」で棟梁を務めた海老崎条次さん（76）＝岩国市＝を講師に迎え、職人の思いにも触れた。岩国観光ガイドボランティア協会メンバ－の波羅一彦さん（75）＝同＝からはガイドのこつも教わった。橋の大型模型を組み立てて構造を学んで臨んだ学校もあった。